

令和2年度 大阪府精神保健対策主要事業 当初予算案概要

依存症対策の強化

(当初予算額：4,960万5千円)

- ・アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症の当事者及び家族に対し、「普及啓発の強化」「相談支援体制の強化」「治療体制の強化」「切れ目のない回復支援体制の強化」を4本の柱とした依存症対策を推進
- ・新しく、総合的な依存症対策を推進するための支援拠点の構築やギャンブル等依存症に係る実態調査を実施

OATIS(*)

依存症総合支援センター
(府こころ)

依存症治療・研究センター
(精神医療C)

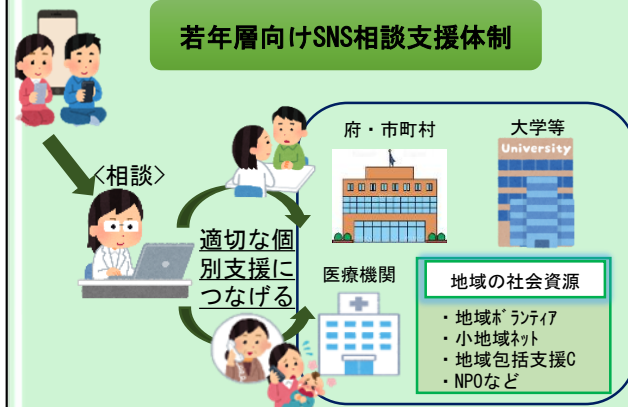
連携

※大阪依存症包括支援拠点 (Osaka Addiction Treatment Inclusive Support)

自殺対策の推進

(当初予算額：8,845万1千円)

- ・「大阪府自殺対策基本指針」に基づき、「人材養成」「相談体制の強化」「地域ネットワークの推進」を3つの柱に総合的な自殺対策を推進
- ・特に、増加傾向にある若年者の自殺についての対策を強化するため、新たにSNS(LINE)を活用した相談体制を整備



精神科救急医療体制の整備

(当初予算額：34,854万2千円)

- ・休日・夜間等における精神疾患等の症状の急発・急変に対応するため専門相談員が助言や精神科救急医療情報センターへの紹介等を行う医療相談体制を確保
- ・緊急措置診察の実施や入院受入医療機関の確保及び精神・身体合併症患者が精神科・身体科双方の医療を受けられる体制等を整備

